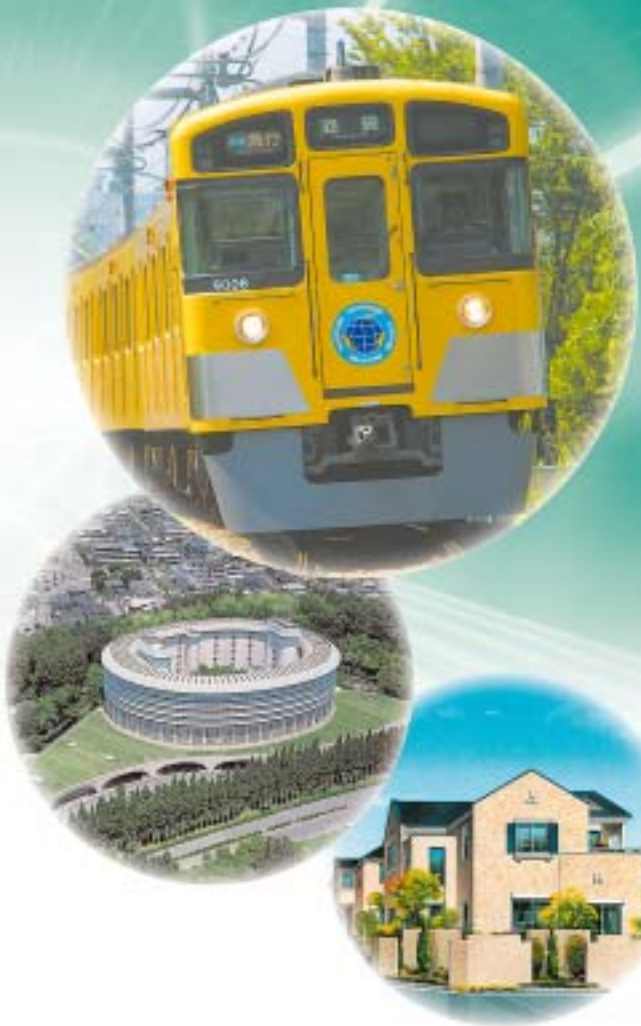
第155期
中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日



西武鉄道株式会社

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

第155期中間事業報告書をお届けするにあたりまして一言ご挨拶申しあげます。

本年5月の社長就任以来、企業価値を高め、株主の皆さまにとって最良かつ実現可能な経営改革案の策定に精力的に取り組んでまいりました。その結果、先にご報告申しあげましたとおり、本年11月には、持株会社方式によるグループ再編について、持株会社・事業会社の概要、グループ再編に関する手続、資本増強および事業計画について合意し、来る12月21日に臨時株主総会を開催することとなりました。

このグループ再編について、株主の皆さまのご承認をいただいた上で、私共経営陣は、持株会社による新たな体制の下、グループ事業会社の経営管理を行い、事業会社間の相乗効果を追求することにより、西武グループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。また、グループ全体のコンプライアンス体制確立とコーポレート・ガバナンスの機能向上に努め、早期の上場を目指す所存です。

さて、当上半期のわが国経済は、先行した企業部門の好調が家計部門にも波及しつつあり、個人消費も緩やかな増加傾向が見られました。当社の収益につきましても、不動産販売業において新規分譲物件が少なかった為に減少したものの、その他の各事業は増加または微増となり、全事業営業収益は1,073億6千6百万円（前年同期比3.5%増）となりました。一方、東京プリンスホテル パークタワーの開業経費等の営業費が増加したことから、全事業営業利益は119億4千5百万円（前年同期比22.6%減）となり、これに営業外収益、支払利息等の営業外費用を考慮した経常利益は66億1千8百万円（前年同期比32.7%減）となりました。さらに固定資産売却益等の特別利益、固定資産の減損処理に伴う損失額等の特別損失を計上いたしました結果、中間純損失は113億9千6百万円となりました。

中間配当につきましては、誠に遺憾ながら見送りとさせていただきたいと存じます。株主の皆さまには心からお詫び申しあげますとともに、事情をご賢察のうえ、格別のご理解とご了承を賜りますようお願い申しあげます。

今後は、鉄道会社として引き続き安全輸送の確保を最優先課題として推進するとともに、沿線施設の利便性やサービス向上によって、業績の回復に努めていきたいと考えております。

株主の皆さまには、西武グループの再編と当社事業の遂行にご支援とご理解を賜りますようお願い申しあげます。

平成17年12月

西武鉄道株式会社

取締役社長　後藤　高志





営業の概況

鉄道事業

当中間期の輸送人員は、定期旅客が1億9千万人（前年同期比0.4％増）、定期外旅客が1億1千7百万人（前年同期比1.0％増）、定期・定期外合計で3億7百万人（前年同期比0.6％増）となりました。

また、営業収益は507億3千3百万円（前年同期比0.6％増）、営業利益は103億9千4百万円（前年同期比4.4％減）となりました。

安全で快適な輸送への取り組み

駅施設を快適にご利用いただくため、練馬高野台駅、新所沢駅に冷暖房を完備したホーム待合室を設置いたしました。また、引き続きエレベーター、エスカレーター、多機能トイレなど、駅施設のバリアフリー化を図っております。また、女性に対する迷惑行為の防止策として、平日朝の混雑時に池袋・西武新宿駅に到着する10両編成上り電車に女性専用車両を導入いたしました。



▲ホーム待合室（練馬高野台駅）



▲女性専用車両導入

設備面の充実と人的サービスの向上

安全輸送を第一に考え、線路、電気、車両などの設備を最良の状態に維持することのほか、事故防止対策として列車非常通報装置や踏切支障検知装置などの設置工事を進めております。さらに、運行管理システムを更新し、運転司令業務の迅速性、確実性を向上させて安全輸送の確保にも努めました。一方、人的サービス面の向上にも注力し、平成16年7月に導入した一般のお客さまや地域の方々に介助をお願いする「駅ボランティア制度」を9駅に拡大したほか、サービス介助士の資格取得を促進いたしました。



▲運行管理システム更新



サービス介助士バッジ▲

旅客誘致への取り組み



当社の観光資源である沿線の景勝地や名跡を生かして、さまざまなハイキングやウォーキングイベントを開催しております。今年度の新たな企画として、他社と提携して「花さがしスタンプラリー」を実施して、各社相互間の旅客誘致を図りました。

◀「花さがしスタンプラリー」パンフレット

付帯事業

当中間期の沿線観光事業の営業収益は282億9千3百万円（前年同期比0.9％増）、営業利益は12億3千万円、ホテル事業の営業収益は190億9千2百万円（前年同期比29.2％増）、営業損失は21億5千4百万円、不動産事業の営業収益は92億4千6百万円（前年同期比12.3％減）、営業利益は24億7千5百万円となりました。

この結果、付帯事業全体の営業収益は566億3千3百万円（前年同期比6.1％増）、営業利益は15億5千1百万円（前年同期比66％減）となりました。

初のセ・パ交流戦の実施

沿線観光事業では、インボイスSEIBUドームで今年から行われたセ・パ交流戦やシーズン終盤のプレーオフ進出をかけた白熱する試合で盛り上がり、観客数および付帯する収入が大幅増となりました。

ホテル事業では新規施設として東京プリンスホテル パークタワーが開業したこと、また、ゴルフ事業では吉井南陽台ゴルフコースなどの低価格戦略が奏功し、増収となりました。



セ・パ交流戦▶

新たな広告媒体「フリーペーパーラック」設置



▲フリーペーパーラック



◀ドラッグストア

広告部門では、駅の集客力の高さを利用して、既存の広告看板スペースをフリーペーパーラックとして転換販売するなど、媒体の稼働率向上に努めました。また、駅構内の店舗営業では、駅改良工事を機として地域特性に対応した店舗展開に努めておりますが、当上半期においては、ひばりヶ丘駅、田無駅などで新規店舗を開業いたしました。

「エプソン 品川アクアスタジアム」ほかオープン

不動産賃貸業では、品川プリンスホテル内に、水族館のほかに4種類のアトラクションなどを備えた屋内エンターテインメント施設「エプソン 品川アクアスタジアム」をオープンいたしましたほか、事業用定期借地権方式による複合型ショッピングモール「グリーンガーデン武蔵藤沢」を開業するなど、新規物件の開業により増収となりました。

不動産販売業では、引き続き「所沢松が丘」、「横須賀ニュータウン湘南池上」、「西武飯能・日高」などで戸建住宅を分譲いたしました。



▲エプソン 品川アクアスタジアム



▲グリーンガーデン武蔵藤沢

財務諸表（単体）

■中間貸借対照表の要旨（平成17年9月30日現在）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	118,525	流動負債	416,787
現金・預金	17,328	短期借入金	352,355
未収金	9,907	未払金	21,396
分譲土地建物	32,381	前受金	16,597
その他	58,908	その他	26,438
固定資産	857,503	固定負債	504,453
鉄道事業固定資産	334,809	長期借入金	404,572
付帯事業固定資産	287,729	退職給付引当金	18,999
各事業関連固定資産	1,628	その他	80,881
建設仮勘定	33,893	特別法上の準備金	18,479
投資その他の資産	199,441	特定都市鉄道整備準備金	18,479
子会社株式	148,347	負債計	939,720
投資有価証券	21,037	（資本の部）	
その他	30,056	資本金	21,665
		資本剰余金	2,587
		利益剰余金	10,439
		株式等評価差額金	1,648
		自己株式	△32
		資本計	36,308
資産合計	976,028	負債・資本合計	976,028

（注）1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額573,978百万円
3. 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

■中間損益計算書の要旨

（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）

（単位：百万円）

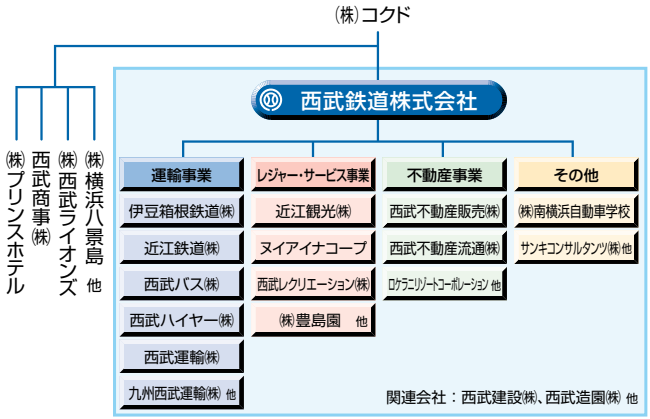
科目	金額
営業収益	107,366
営業費	95,421
営業利益	11,945
営業外収益	1,263
営業外費用	6,590
経常利益	6,618
特別利益	11,647
特別損失	32,434
税引前中間純損失	14,168
法人税、住民税及び事業税	8,517
法人税等調整額	△11,289
中間純損失	11,396
前期繰越利益	4,919
中間未処分損失	6,476

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結決算情報

■企業グループ概要

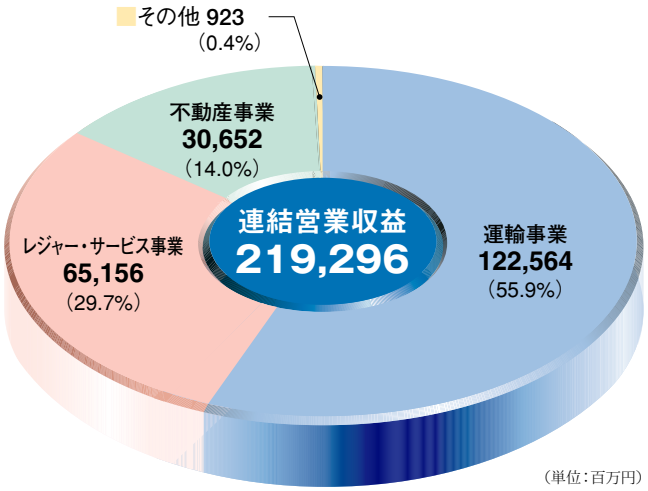
当社グループは、当社、子会社97社、関連会社4社の計102社で構成されております。また、当社グループに、親会社の㈱コクドとその子会社群及び関連会社の子会社群を加えた企業集団が西武グループであり、グループ内の各社が連携を図り、多様な事業を展開しております。



枠内が連結決算対象会社です。

■セグメント別営業収益構成

（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）



（単位：百万円）

財務諸表（連結）

■中間連結貸借対照表の要旨（平成17年9月30日現在）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	167,230	流動負債	516,779
現金及び預金	46,186	短期借入金	416,648
受取手形及び売掛金	27,790	その他	100,131
分譲土地建物	63,420	固定負債	577,516
その他	29,833	長期借入金	417,253
固定資産	955,511	その他	160,263
有形固定資産	879,308	特別法上の準備金	18,479
建物及び構築物	442,732	特定都市鉄道整備準備金	18,479
土地	334,921	負債合計	1,112,776
その他	101,655	（少数株主持分）	
無形固定資産	5,090	少数株主持分	8,363
投資その他の資産	71,111	（資本の部）	
投資有価証券	26,592	資本金	21,665
その他	44,519	資本剰余金	2,944
		利益剰余金	△36,591
		土地再評価差額金	24,555
		株式等評価差額金	3,336
		為替換算調整勘定	1,788
		自己株式	△16,097
		資本合計	1,601
資産合計	1,122,741	負債、少数株主持分及び資本合計	1,122,741

（注）1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額745,002百万円
3. 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

■中間連結損益計算書の要旨

（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
営業収益	219,296
営業費	205,050
営業利益	14,245
営業外収益	1,618
営業外費用	15,936
経常損失	71
特別利益	12,208
特別損失	50,769
税金等調整前中間純損失	38,631
法人税、住民税及び事業税	9,471
法人税等調整額	△17,877
少数株主損失	2,589
中間純損失	27,636

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結剰余金計算書

（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
（資本剰余金の部）	
資本剰余金期首残高	2,944
資本剰余金中間期末残高	2,944
（利益剰余金の部）	
利益剰余金期首残高	△11,123
利益剰余金増加高	3,256
土地再評価差額金取崩額	3,256
利益剰余金減少高	28,724
配当金	1,046
役員賞与	41
中間純損失	27,636
利益剰余金中間期末残高	△36,591

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	102
現金及び現金同等物の増減額	1,942
現金及び現金同等物の期首残高	43,178
連結追加に伴う現金及び現金同等物増加額	–
現金及び現金同等物の中間期末残高	45,120

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

（平成17年9月30日現在）

商　　号	西武鉄道株式会社
設　　立	明治45年5月7日
本社所在地	埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1
資 本 金	21,665,232,000円
従業員数	3,501人
株 主 数	13,606人
授権株式数	1,155,479,040株
発行済株式数	433,304,640株
事業内容	鉄道事業、沿線観光事業、ホテル事業、不動産事業

役　員

（平成17年9月30日現在）

代表取締役 取締役会長 会長執行役員	平野　直樹
代表取締役 取締役社長 社長執行役員	後藤　高志
代表取締役 取締役副社長 副社長執行役員	石橋　正男
常務取締役 上席執行役員	高須　洋一
常務取締役 上席執行役員	松下　　彰
常務取締役 上席執行役員	五代儀（いよぎ）俊悦
取締役 上席執行役員	遠山　　毅
取締役 上席執行役員	白山　　進
取締役 上席執行役員	田島　幸夫

常勤監査役	山田　憲二
監査役	村田　昌弘
監査役	神奴（かみやっこ）帯刀（たてわき）
監査役	深澤　　勲
顧問	山川　征夫
顧問	高橋　　薫
顧問	生駒　　成
執行役員	加藤　弘茂
執行役員	山口　正大
執行役員	冨田　健一
執行役員	芝田　　功
執行役員	金杉　和秋
執行役員	西尾　恵介
執行役員	矢崎　通文

株主メモ

決算期日

毎年3月31日

株主総会

定時株主総会 … 毎年6月に開催いたします。
臨時株主総会 … 必要があるときに開催いたします。

基準日

毎年3月31日
そのほか臨時に必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。

1単元の株式の数

1,000株

名義書換代理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

郵便物送付先・電話お問合せ先
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
電話　0120-288-324（フリーダイヤル）

同取次所

みずほ信託銀行株式会社　全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社　本店および全国各支店

公告掲載新聞

東京都において発行する日本経済新聞

貸借対照表および損益計算書の開示

当社は、貸借対照表および損益計算書を、決算公告に代えて、当社ホームページに掲載しております。
ホームページアドレスは次のとおりです。
http://www.seibu-group.co.jp/railways/index.html

グループトピックス



西武ライオンズの活動報告

2005年、西武ライオンズは伊東監督のもとチーム一丸となって連覇に挑みましたが、レギュラーシーズン3位。プレーオフ第1ステージでは、残念ながら千葉ロッテマリーンズに敗れ連覇の夢は途絶えてしまいました。

今シーズンは、「プロ野球改革元年」といわれセ・パ交流戦が行われ、プロ野球界は今までにない盛り上がりを見せました。

また、各球団では「ファンサービス」に重点をおき、様々なイベントを実施いたしました。

西武ライオンズは、球団と球場が一体となった新チーム「ファンサービスチーム」を発足させ、地域に根ざした企画やファンの皆さまとのふれあいを大切にする企画を実施いたしました。昨年から始めた市民応援デーは、20試合を超え、また、選手によるお出迎えハイタッチや小学校訪問など初めてのイベントを行いました。

11月23日には、「西武ライオンズ ファン感謝の集い ～選手と一緒に楽しもう～」を実施し、多くのファンの皆さまに喜んでいただきました。

2006年は、覇権奪還に挑むとともに、今年以上に地域に根ざし、皆さまから愛される西武ライオンズとなれるよう努力してまいります。



ファン感謝の集い



小学校訪問

株主優待のご案内

毎年3月31日現在および9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり株主優待乗車証および施設利用優待券を発行いたします。

1. 株主優待乗車証

所有株式数	優待乗車証の種別	乗車区間	枚数(6ヵ月につき)
1,000株以上 5,000株未満	普通乗車券形(片道)	電車全線	10枚
5,000株以上 10,000株未満	普通乗車券形(片道)	電車全線	30枚
10,000株以上 20,000株未満	普通乗車券形(片道)	電車全線	50枚
20,000株以上 40,000株未満	定期券形	電車全線	1枚
40,000株以上	定期券形	電車・バス全線	1枚

2. 施設利用優待券 (1,000株以上一律)

優待施設	優待内容	枚数(6ヵ月につき)
西武園ゆうえんち	入園券 のりもの券	5枚 15枚
ユネスコ村 大恐竜探検館	大恐竜探検館入館券 バーチャルライドシアター・メリーゴーランド・UFO共通券	5枚 5枚
インボイスSEIBUドーム	パ・リーグ公式戦 内野指定席券(引換券)	5枚
西武グループの宿泊施設 (全国63ヵ所)	ルームチャージまたは 1泊2食付き正規料金の 20～30%割引券	10枚

施設利用優待券でご利用いただける施設、内容等は変更する場合もありますので、ご了承ください。

3. 有効期間

3月31日現在の株主：6月1日から11月30日まで

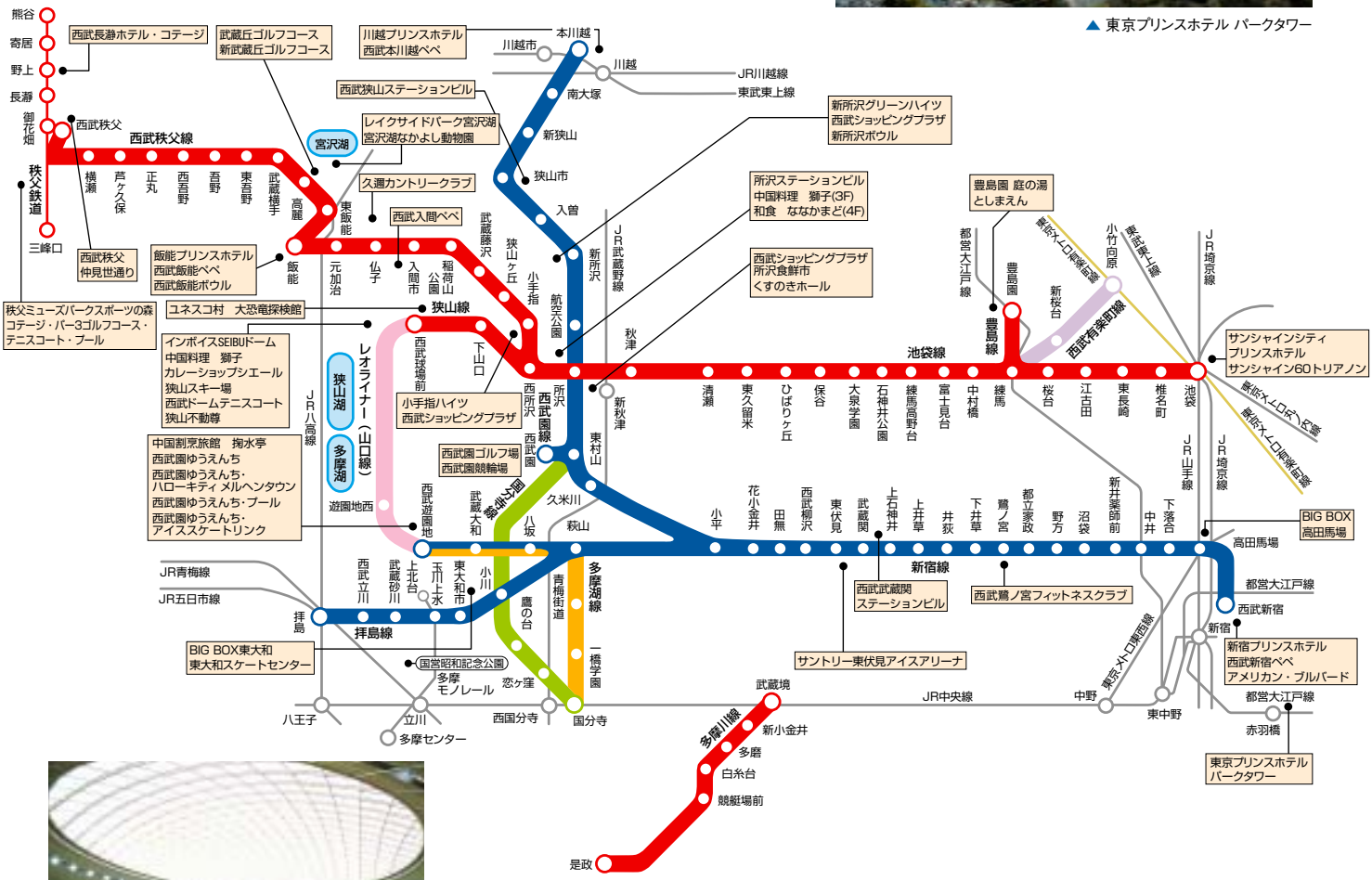
9月30日現在の株主：12月1日から翌年5月31日まで

沿線案内図

特急レッドアローが走る池袋線・新宿線の2つの主要路線からなり、武蔵野、奥武蔵、秩父と、沿線は自然と歴史をともに楽しめる観光・通勤路線として知られています。武蔵野は、由緒ある寺社やその面影を残す公園、そして人々のオアシス多摩湖、狭山湖があります。奥武蔵は、都心からも近いハイキングコースで歴史と自然のなかをゆったりと歩けます。そして秩父は、歴史と自然の宝庫。長瀞、奥秩父連峰など見どころがたくさんあります。西武沿線は、四季を通じて楽しめるレジャー路線です。



▲ 東京プリンスホテル パークタワー





◀ インボイスSEIBUドーム

お気軽にお問い合わせください

西武・電車テレホンセンター　TEL.（04）2996-2888

電車の時刻・運賃、特急空席案内・沿線案内などをオペレーターがご案内いたします。
営業時間：平日9:00～19:00　土・休日9:00～17:00　年中無休（12/30～1/3を除く）



西武鉄道株式会社

〒359-8520 埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1

TEL.（04）2926-2040

ホームページアドレス　http://www.seibu-group.co.jp/